

国立職業訓練校自動車整備科インストラクターの 養成および評価・育成システム構築プロジェクト（2016年～）



自動車整備の技術とノウハウをインドネシアへ！

■ 実施団体：

愛媛トヨタ自動車株式会社

（2018年までの案件では提案団体は愛媛県）

■ 相手国：

インドネシア

（労働省、南スラウェシ州 バンタエン職業訓練校）

■ 協力内容：

- ・団体の有する自動車整備技術や人材育成ノウハウを活用した自動車整備士育成コースの設置。自動車整備士人材の育成。
- ・効果を全国に展開させるためのインストラクター育成、評価・育成システムの構築。

■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・インドネシア人留学生のインターンシップ受け入れをきっかけに支援開始。
- ・JICA草の根技術協力(2016-2018)を始め、中古緊急車両寄贈(累計214台)や、現地トヨタディーラーとの技術交流を2010年より継続している。
- ・他にも団体は地域の小学校での出前授業やタイ北部への物資支援等、他の社会貢献活動も精力的に行っている。



専門家による指導の様子

課題と成果

課題① 自動車整備技術を十分に指導できる学校が不足。
成果① 現地職業訓練校では3カ月の短期コースしか無かったが、**2年コースを新設、現在も労働省により継続されている。労働省や産業界から5Sやカイゼンといったソフトスキル訓練による成果として、訓練生の人間力向上が評価される。**

課題② 自動車整備人材および指導者の育成。
成果②

- ・職業訓練校卒業後に整備士となる人材も少なかったが、先行事業で自動車整備士インストラクター6名、自動車整備士10名を育成。
- ・卒業した整備士10名は全員地元ディーラーへ就職、基礎技術とソフトスキルが現場で評価されている。
- ・労働省や県政府も自動車産業界が求める技術水準の職業訓練を評価し、引き続き基礎技術修得の徹底、ソフトスキル重視のインストラクター育成に取り組んでいる。

日本とのつながり

！ 県の国際化・実施団体の能力向上・外国人材の可能性

- ・産学官連携による国際協力セミナーにおける実施団体の活動報告に対し、参加した市民から国際協力における選択肢の広さを認識できた等の声があった。
- ・実施団体の内部人材育成につながった。派遣専門家は問題解決能力やマネジメント力を身に付け、日々の業務でもリーダーシップを発揮している。
- ・この事業をきっかけに、相手国機関関係者や訓練生の愛媛県来訪や副知事との面談が実現。2019年には愛媛県や愛媛県外国人技能実習生受入組合協議会による現地訪問が実現するなど、地域同士の関係強化にも寄与している。